『学び合う』英語

新潟大学教育学部　加藤茂夫
平成21年８月２日　上越教育大学サテライト

コミュニカティブ・ティーチング（CT）研究会のご紹介

本研究会は「英語教育を言葉の教育の原点に立脚させ、人間味あふれる教育法を開発し、実践し、発展させること」を目指して1975年４月に結成され、新潟県内外の中・高等学校・大学の英語教員等の参加を得て、理論・実践の両面から英語教育の改善に微力ながら取り組んで参りました。その成果の一部は、『生き生きとした英語授業』（上・下巻、大修館書店、1981年）、Joyful English （入門・初級・中級・総合）、 Joyful Readers （１～４）、Reading Sheets 32（１・２）、 Joyful Games （１・２、以上暁教育図書）、『英文法学習ドリル』（美誠社）などの刊行物にまとめるほか、学会や学術誌に研究成果を公表しております。さらに1994年からは、会員の研究発表の場として『コミュニカティブ・ティーチング研究会紀要』（ COTS Journal ）を年に１号ずつ出版しています（平成21年７月現在Vol.13まで刊行）。現在の会員は50名ほどですが、毎月１回の月例会（授業・実践研究、読書会他）と、合同で行う夏の合宿研究及び冬の授業公開を中心に活動しています。本研究会の授業公開は研究会の発足以来続いており、近年では県立長岡高校、新潟市立万代高校、県立村上高校、県立糸魚川白嶺高校、長岡工業高等専門学校などで行われています。

（資料１） Competitive Jigsaw-Reading Sentences:

C) They give us wood for building and heating. They are a home for many kinds of animals, too.
B) For many people living in cities, forests are often a good place to go for a vacation.
A) There they can learn about nature, breathe fresh air, and sleep in a quiet place.
E) There is one more reason why forests are important for everyone in the world.
D) The leaves on trees help clean the air. Dirty air is a serious problem in many areas.

（資料２）Competitive Jigsaw-Reading 記入シート

(A)……

(B)……

(C)……

(D)……

(E)……

（資料３） Cooperative Jigsaw-Reading Sentences:

B) In some areas, most people build their homes out of wood. This is true in parts of North America and in Scandinavia.

Memo

E) These areas have large forests, so wood is easy to get and inexpensive. In many other areas of Europe, there are few forests left.

Memo

A) Because stone and brick are cheaper in such areas, most people build their houses using these materials.

Memo

D) In tropical regions, houses are sometime made from plants. For example, in parts of Africa or South Asia, houses may be made out of bamboo.

Memo

C) Finally, in the very coldest areas near the Arctic, there are people who make their homes out of blocks of ice.

Memo

（資料４）

活動比較アンケート

●２つの活動を比較して、以下の質問に答えて下さい。

１．最初の活動ではグループごとに速さを競い合い、２番目の活動ではグループ間で助け合い最終的にクラス全体で意見をまとめました。どちらの方法がやりやすかったですか。また、どちらの方法がやる気が出ましたか。下の１～７の該当する数字に○をつけて下さい。

１－１：

１＝最初の活動がとてもやりやすかった。　　７＝２番目の活動がとてもやりやすかった。

1　　2　　3　　4　　5　　6　　7

とても　けっこう　　やや　　どちらともいえない　　やや　　けっこう　　とても

１－２：

１＝最初の活動がとてもやる気が出た。　　７＝２番目の活動がとてもやる気が出た。

1　　2　　3　　4　　5　　6　　7

とても　けっこう　　やや　　どちらともいえない　　やや　　けっこう　　とても

２．最初の活動では役割分担は特にせず、２番目の活動では役割を決めました。どちらの方法

がやりやすかったですか。また、どちらの方法がやる気が出ましたか。

２－１：

１＝最初の活動がとてもやりやすかった。　　７＝２番目の活動がとてもやりやすかった。

1	2	3	4	5	6	7
とても	けっこう	やや	どちらともいえない	やや	けっこう	とても

２－２：

１＝最初の活動がとてもやる気が出た。　　７＝２番目の活動がとてもやる気が出た。

1	2	3	4	5	6	7
とても	けっこう	やや	どちらともいえない	やや	けっこう	とても

３．２つの活動全体を振り返り、生徒の立場に立ってどちらの方法がより有効であると感じますか。

１＝最初の活動がとても有効　　７＝２番目の活動がとても有効

1	2	3	4	5	6	7
とても	けっこう	やや	どちらともいえない	やや	けっこう	とても

４．２つの活動を比較して、どんなことでも結構ですので、気のついたことを書いてください。

・「誰かと競う」となると、自然と頑張ってしまうものだと思う。クラス全体で同じ答えにするのは難しいし、意見が合わない場合終わらないし、参加しない生徒も出てきそう。役割があると、発言していいかどうか悩んでしまうかも。
・最初の活動は自分のグループが早く終わったら、何もすることがないが、後の活動はグループ内での活動が終わっても、グループ間で活動を行うことができる。
・もし、自分が英語苦手だったら、最初の競争的な活動はあまり好きになれないかもしれません。
・点数のつく競争形式という事で、生徒のモチベーションを高めることができるという点においては、最初の方がよかったのではないか。
・役割を決めた時に、リーダーという役割をうまくできない生徒もいるかもしれないです。「やらせてみる」というよりも、もとからリーダー気質な人の、リーダー能力、管理能力を高めるためにも、特に役割は決めなくてもよいのかなと思いました。リーダー気質の子は、自分で進んでやると思います。
・最初の活動では、クラス全体でなにかの結果を出すことや、グループ間を超えての相談も可能だったことがよかった。役割分担について考えると、ほぼ機能していないようにも感じたので、最初の活動方法の方がよいように感じた。
・役割は好きな（仲の良い）グループで活動した場合は特に分担する必要はないが、教師が無作為にせってした場合は役割分担が必要だと思う。競争した方が早く解いて点をもらおうというやる気を起こさせる。全体で考えてしまうと結局いつもの授業と同じ気がする。ゲーム感覚の方が有効だと思う。
・どちらの活動をするとしても役割を分担した方がスムーズに進行するし、他人に任せきりにならないと思います。競争にも協力にもそれぞれ良い点があるため、２つの活動を両方とも行うことに大きな意味があると感じました。
・最初の活動では、役割分担はないけど、自分の責任で１つの文章を覚えてくるので分担がなくはない。憶える作業が大変なので、自分が担当した部分をどこに置くかを真剣に考えるのでよかった。
・２つ目の活動は全員が同じポイントを得られるため、１つ目の活動と比べてあまりやりがいを感じなかった。また、他のチームと同じ答えになればよいという目的で見せあいながら活

動すると、とにかく同じにすればいいやと投げやりになってしまうことがあった。 1 つ目の活動は、スピーディに活動しないといけないのでハラハラし、楽しかった。全員が話し合いに参加して考えられたのがよかった。

・最初の活動で、答えを（教師に）言い行く時、ばらばらの紙を持って行くのが少し大変だったので、メモ用紙に書いて見せたり、口頭で伝えるのがよいと思った。